



オーギュスト・ルノワール〈パリスの審判〉1913-14年頃

2025  
7/26 SAT → 9/28 SUN  
※会期中無休

開館時間 午前9時30分～午後5時30分  
(入館は午後5時まで)  
入館料 一般1,000円(4枚セット券3,000円)  
大学生800円/高校生500円/中学生以下無料  
主催 公益財団法人岡田文化財団  
パラミタミュージアム  
後援 中日新聞社/読売新聞社/朝日新聞社  
三重テレビ放送  
企画協力 公益財団法人ひろしま美術館  
青幻舎プロモーション

関連イベント ※イベントの詳細については、公式HPをご確認ください

- 記念講演会  
日時：8月10日(日)午後2時～午後3時半  
講師：古谷可由(公益財団法人ひろしま美術館学芸部長)  
参加料：無料(要入館券)
- パラミタコンサート「フランスと日本をつなぐピアノの調べ」  
日時：9月7日(日)午後2時～午後3時  
演奏者：平山つらら/ピアノ  
参加料：無料(要入館券)

ひろしま美術館コレクション  
フランス  
印象派  
から  
日本の  
近代洋画  
まで

ひろしま美術館は、日本で現在も高い人気を誇る印象派を中心に、19世紀はじめのロマン主義から20世紀前半のエコール・ド・パリに至るフランス近代美術と、さらにそれらに影響を受けた日本近代美術を収集し、国内有数のコレクションを築いています。今回は、その貴重な作品群から、フランス近代美術の名だたる巨匠たち、クールベ、モネ、ルノワール、マティス、ピカソ、シャガールらと、それらに影響を受けたながら、明治から大正、昭和にかけて日本の近代洋画を牽引した、浅井忠、黒田清輝、藤島武二、岡田三郎助、岸田劉生、佐伯祐三、梅原龍三郎らの作品、あわせて70点を二堂に展覧いたします。

本展を通して、フランス近代美術と日本近代洋画をめぐる約100年の展開をたどりながら、ひろしま美術館の珠玉の名画をご堪能ください。

公益財団法人ひろしま美術館は、1978年、広島銀行の創業100周年を記念して、「愛とやすらぎのために」をテーマに設立されました。一枚の絵が人々の心を癒やすと信じ、戦争で傷ついた人々のやすらぎの場になればとの思いから、広島市に開館した私立美術館です。



南薫造《春(フランス女性)》1909年頃



黒田清輝《洋燈と二児童》1891年



梅原龍三郎《軽井沢秋景》1974年



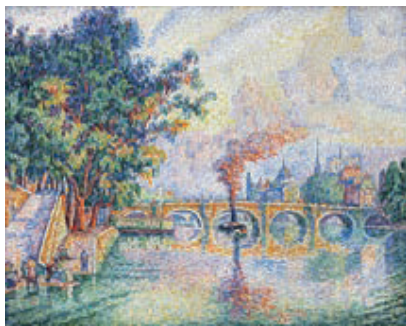
ギュスターヴ・クールベ《雪の中の鹿のたたかい》1868年頃



クロード・モネ《アムステルダムの眺め》1874年



アンリ・マティス《赤い室内の緑衣の女》1947年



ポール・シニャック《パリ、ボン＝ヌフ》1931年



マルク・シャガール《河のほとり》1973年 © ADAGP, Paris & JASPAR, Tokyo, 2025 G3874

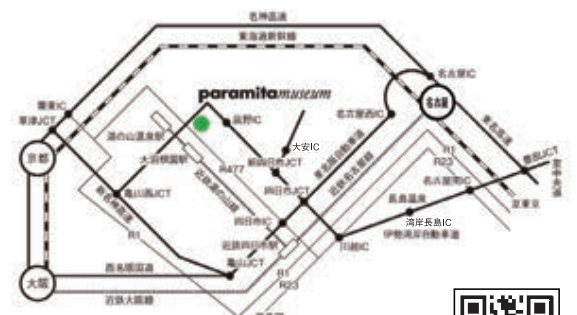
次回展示のお知らせ

会期 **2025.10.3(金) ▶ 11.30(日)** ※会期中、一部展示替えがあります  
 前期:11月3日(月・祝)まで 後期:11月4日(火)から

横山大観と菱田春草 近代日本画を築いた二人の挑戦

明治期、新たな時代にふさわしい「日本画」の創造という岡倉天心の理想に共感し、近代日本画の確立に大きく貢献した横山大観(よこやま・たいかん/1868-1958)と菱田春草(ひしだ・しゅんそう/1874-1911)。今展は、初期日本美術院の代表的な作品を数多く所蔵する水野美術館の貴重なコレクションから選りすぐりの作品で構成し、89歳まで生きた大観と36歳で天逝した春草、二人の画業と挑戦をあらためて顕彰します。

■お車をご利用の場合/○東名阪[四日市IC]より湯の山温泉方面へ約6.5km ○新名神[菟野IC]より約4km ■無料駐車場有り(普通車100台、大型バス駐車可)  
 ■電車をご利用の場合/近鉄[四日市駅]より近鉄湯の山線にて約25分、[大羽根園駅]下車、湯の山温泉方面へ300m ■全館バリアフリー、車椅子常備



公益財団法人岡田文化財団パラミタミュージアム 〒510-1245 三重県三重郡菟野町大羽根園松ヶ枝町21-6

Tel.059-391-1088 Fax.059-391-1077 E-mail office@paramitamuseum.com

https://www.paramitamuseum.com Facebook (@paramitamuseum) Instagram (@paramitamuseum) X (@paramita\_muse)

